



赤ちゃんの発育にあわせて”飲む”を楽しくサポート

ピジョン「マグマグ®」

30年の歩み



マグマグベビー
(生後3ヶ月頃～)



マグマグスパウト
(生後5ヶ月頃～)



マグマグストロー
(生後8ヶ月頃～)



マグマグトレーニングカップ
(生後8ヶ月頃～)

ごあいさつ(代表取締役社長 大越より) P2

- | | |
|-----------------|------|
| 1. 「マグマグ」とは | P3 |
| 2. 「マグマグ」開発者から | P4 |
| 3. 「マグマグ」の豆知識 | P5 |
| 4. 「マグマグ」30年の歩み | P6-8 |
| 5. 「マグマグ」商品概要 | P9 |

※ 「マグマグ」はピジョン(株)の登録商標です。

<報道関係各位からの問い合わせ>

ピジョン株式会社 IR・広報室 〒101-8480 東京都中央区日本橋久松町 4-4

TEL:03-3661-4188 FAX:03-3661-4320

<一般の方からの問い合わせ先>

お客様相談室 TEL:03-5645-1188 <http://pigeon.info/>

ごあいさつ. 赤ちゃんの発育にあわせた 飲むトレーニングカップ「マグマグ」30周年を迎えて

2012年、赤ちゃんの発育にあわせて”飲む”を楽しくサポートする「マグマグ」が発売30周年を迎えます。

乳首、スパウト、ストロー、コップと、成長段階に合わせて4ステップの飲み口に変えられ、生後2,3ヵ月から4,5才の幼児期まで使えるステップアップ式システム「カップ」を1982年に発売しました。以来、30年間、赤ちゃんの口腔機能の研究、素材の進化に加え、赤ちゃんの飲みやすさ、お母さんの使い勝手を追求し、進化してまいりました。現在の「マグマグ」は、カップ低部を柔らかなエラストマーでコーティングし滑りにくくしたほか、より組み立てや分解、洗浄がしやすい構造になっています。また、赤ちゃんが持ちやすいようにハンドルの角度にも工夫があります。

「マグマグ」の歩みは、妊娠、出産、子育てそして介護を通して、手助けを必要とするすべての人々に対し、経営理念である“愛”を、商品またはソフトサービスの形にして提供する事業を展開する、ピジョンの思いを形にしたものでした。

おかげさまで、「マグマグ」は皆様からたくさんのご支持をいただき、ピジョンの主要な商品カテゴリーに成長しております。

ピジョンは、現在の基礎となる哺乳びん「キャップ式広口哺乳器」を日本で初めて発売以来、60年以上にわたって育児を見守り続けてきました。その間、赤ちゃんの健やかな成長をサポートするための生活研究や商品開発を深耕しながら、日本の育児用品のリーディングカンパニーとして、その役割を担ってきました。

これまでのご支援に感謝し、次世代を担う赤ちゃんやお母さん方に、これからも満足していただける育児用品を提供するため、さらに誠実に取り組んでまいります。
どうぞこれからのピジョンにご期待ください。



ピジョン株式会社
代表取締役社長

大越 昭夫

1. 「マグマグ」とは

■ 「マグマグ」とは

哺乳びんは乳児期に主に授乳用に使用され、その後、赤ちゃんが成長し自分でコップを持って飲み物を口にできるまでには多くの時間が必要となります。ピジョンは、赤ちゃんがひとりで持って飲めるようハンドルを取りつけ、そして、乳首から始まり、ミルク以外の飲み物を飲み始めるためのスパウト、唇をすぼめて飲むストロー、こぼさず上手に飲めるコップと、成長段階に合わせた4ステップに替えられる飲み口を採用した、ステップアップ式システムカップ「マグマグ」を、1982年に発売しました。

使用可能な期間をコップ飲みできる幼児期まで格段に広げた「マグマグ」は大ヒット商品となり、現在ではこのステップアップ式のカップが育児用品の定番商品に育っています。ピジョンの「マグマグ」は、赤ちゃんの口腔機能の研究、素材の進化に加え、ご利用いただいている方々の利便性を考慮しながら進化し続けてきました。

■ 開発コンセプト

「赤ちゃんが自分で持って飲める」「楽しい育児用品」「ステップアップすることにより長く使える」「赤ちゃんの成長発達を適切に促す発達用品」であることを意識し開発した商品です。

1982年の発売当時は、たいへん画期的なものでした。

現在では育児用品の定番商品として、各社から同様のものが発売されるに至っています。

乳幼児は、成長に伴い「哺乳運動による液体摂取」から、「ストローを使用し、呼吸と連動した吸引による液体摂取」や、「コップを使用し、口唇と傾け幅を調整して啜り込む液体摂取」に対応するために、口腔における構造や動きが大きく変化している事が口腔発達研究により解明されました。

ピジョンのマグマグは、この研究成果を反映し、スムーズに変化に対応した動きができるよう、各ステップにおける飲みやすさを追求しています。「哺乳運動を行いやすい乳首」「哺乳運動以外の動きに慣れる為のスパウト」「口唇を閉じる事を促し、吸引との連動により飲みやすいストロー」「くわえやすく、流量の調整が行いやすいコップ飲み口」によるトレーニングカップシステムです。



▲初代:1982～

▲2代目:1988～

▲3代目:1992～

▲4代目:2001～

▲5代目:2005～(現行品)

2. 「マグマグ」開発者から

■発売当時の商品開発担当より 大貫善市

1970年代から80年代の育児用品に対するニーズの変化に対応して、ピジョンはこれまでにない画期的な商品の研究・開発を日々行っていました。一番重要視をしたのが、消費者の側に立った発想で商品全体のイメージを作っていました。商品をお使いいただく対象としては、新しい生活スタイルを受け入れることに積極的なお母さん方でした。ピクニック、スポーツ、ドライブ、ショッピング、お散歩などアウトドアに対応できる赤ちゃん用カップを発売することで、もっと積極的に外へ出て、楽しく育児をしようという新しい育児スタイルの提案がこの「マグマグ」でした。

当時の育児用品は、うすいピンクやブルーなど、パステル系のカラーがほとんどでした。明るいアウトドア的なイメージで、性差なく使える原色系の黄色を選びました。また、その頃の哺乳器というと、医療器具のようなイメージがあり、イラストやキャラクターをつけるという発想はまったくありませんでしたが、マグマグは発売当初から親子のぞうさんやにわとりなどの楽しいイラストをつけました。

■現在の商品開発担当より 新井啓介

乳幼児の成長発達の研究を行い、「乳幼児に適切な発達を促す為の構成」や「使いやすさ」をデザインに反映した事による機能美を意識すると共に、「母親による取り扱いやすさ」や「楽しさ」についても考慮し、開発を行いました。

新しい母乳実感乳首がついたベビーカップと、新しくなったスパウトは飲み口以外の部品が共通なので、買い換える部品を少なくすることができました。ワンタッチで開閉できるストローカップはバルブが付いて飲みやすさが向上しています。ストローカップは蓋を後ろまで倒すことができるので、カップを傾けてもお子さまの視界を塞がず気持ちよく飲むことができますし、目の近くに蓋が位置しないため安心して飲ませることができます。新しいマグマグでいつでも色々な飲み方のトレーニングを始めてください。

赤ちゃんの月齢や成長に合わせて無理なくトレーニングすることでコップ飲みやストロー飲みを上手に楽しく覚えていってほしいと思います。ピジョンマグマグは今も昔もお子さまの健やかな成長とご家族の幸福を願って作っています。

3. 「マグマグ」の豆知識

■マグマグ ネーミングの由来

ネーミングに際し社内で公募を行い、何百という案が社員から出ました。マグマグという名前は可愛らしさ、楽しさ、覚えやすさ、親しみやすさなどを考慮し、当時のプロジェクトメンバーにより決定しました。ネーミングの由来は、当時、アメリカンカジュアル的なウェストコースト風にしたいというマーケティング戦略があったので、アルファベットの方が露出量的に高くなることを予想しました。そこで、発音の次にアルファベットをロゴにした時の視覚的イメージもネーミング選択判断の対象になりました。「マグマグ」はマグカップの「マグ」という言葉と、子どもの言語発達の過程に合わせて発音できる言葉であることということから生まれた造語です。マグカップの「マグ」は「Mug」ですが、日本人は「Mug」を「マグ」と発音しづらいということから、最終的には造語として「Mag Mag」となりました。モデルも発売当時から外国人の子どもを起用しているので、マグマグを輸入品だと勘違いされたお客様もいらっしゃいました。

■1982年マグマグ誕生元年 アンケート結果（当社調べ）

主に 0～18 カ月のお子様を持つ方にアンケートを実施しました。マグマグの第一印象は「かわいい」44.3%、「便利そう」26.0%、「やっとうた！」12.5%、使用実感としては、便利でなかなか良いという印象が上位ですが、「子どもがこぼさない」「カップが洗しやすい」「ハンドルがついていて大変良い」などがあげられていました。

■グッドデザイン賞を受賞しています

1985年のグッドデザイン賞受賞以来、2001年、2005年、2011年と20年間以上にわたって継続して受賞しています。



■マグマグの累計販売数および所有者経験者数について（日本国内）

1982年の発売より30年間で、日本国内にて累計約2,100万個以上を販売してきました。離乳用システムカップの所有者経験者は、70%～80%の高い水準で継続しており（当社調べ）、育児の必需品となっております。

■マグマグの海外販売について

海外では1984以降、日本製の「マグマグ」の輸出を開始し、1990年以降は海外での生産も始め、現在では中国、アメリカを始め、60カ国以上にて販売しており、高い評価を得ています。

4. 「マグマグ」30年のあゆみ

<商品編>

| 年代 | マグマグの歩み |
|---|--|
| 1982年4月5日  | 赤ちゃんが自分でコップを持って飲み物を口にできるようになるまでの口腔機能の発達をサポートするトレーニング用カップとして、初代「 <u>マグマグ</u> 」誕生。アメリカンカジュアル的なアウトドアを意識した育児スタイルの提案は、当時のお母さんにも圧倒的に受け入れられ、離乳用システムカップという新しい市場を確立し、発売当時から全国で約8割のお母さんが使用していました。 |
| 1984年 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外へ「マグマグ」の輸出を開始。 |
| 1985年 | <ul style="list-style-type: none"> ・北米へ「マグマグ」初進出。 発表したのは海外専用に変更した新仕様、スパウト(トレーニングカップ)、スペアーストローセットも含む9アイテム。パッケージの色は、国内マグマグと同じ黄色。 <ul style="list-style-type: none"> ・グッドデザイン賞受賞。 ・「マグマグランチセット」新発売 水筒「プチ・ポット」、弁当箱「ランチボックス」、離乳のトレーニングカップ「トレーニング」、現代版子ども用重箱「バラエティトレイ」の4点を発売。 |
| 1988年11月7日  | <u>「2代目マグマグ」誕生</u> 初代より丸みを帯びたやさしいイメージの型に変更。電子レンジで加熱ができるようになりました。 |
| 1992年4月6日  | <u>「3代目マグマグ」誕生</u> 消費者の志向に合わせ、これまで半透明だったカップが透明になりました。 |

| | |
|--|--|
| <p>2001 年 10 月 1 日</p>  | <p><u>「4 代目マグマグ」誕生</u></p> <p>口腔機能発達研究より、赤ちゃんの口腔機能トレーニングをさらにサポートできる飲み口になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グッドデザイン賞受賞。 |
| <p>2005 年 8 月 22 日</p>  | <p><u>「5 代目マグマグ」誕生。</u></p> <p>4 種の飲み口形状、ハンドル、底部などを改良。また組み立てや分解、洗浄がより簡単に行えるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グッドデザイン賞受賞。 ・1982 年の発売以来、23 年間に国内で約 1900 万個を販売。海外でも高い評価を得ており、マグマグ所有率は 84.6%になりました。(国内・当社調べ) |
| <p>2011 年 2 月 14 日</p>  | <p><u>「5 代目マグマグ」リニューアル。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグマグベビーとマグマグスパウトをさらに飲みやすい飲み口に改良しました。 ・ボトルデザインを可愛い動物柄に変更 ・グッドデザイン賞受賞。 |
| <p>2012 年 3 月 19 日</p>  | <p><u>「5 代目マグマグ」リニューアル</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグマグストローをワンタッチオープンで飲みやすく、パーツの一体化で扱いやすく改良しました。 ・グッドデザイン賞受賞。 |

<マーケティング・宣伝編>

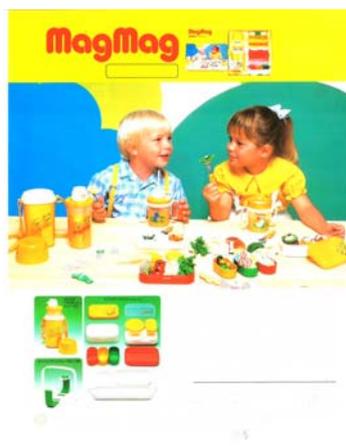
■発売時と現在のCM

| 年代 | プロモーション内容 |
|-------|--|
| 1982年 | オンエア CM 第1弾 当時では珍しい外国人の子どもを起用。撮影のときに、モデルの子どもがぬいぐるみとマグマグを気に入ってくれるかどうか心配でしたが、子ども達は、両方とも気に入ってくれて、最後にはマグマグを欲しがったり、ぬいぐるみの名前を聞いたり、楽しい撮影に終わりました。 |
| 1983年 | オンエア CM 第2弾 前回に続いて外国人の子どもが登場。テーマは屋外で使うこと、月齢の高い子にアピールすることでした。「お昼のワイドショー」「ルックルックこんにちは」(NTV系)の番組提供として放映されました。 |
| 2012年 | 2012年4月18日より、フジテレビ「ベイベースタイル」内にて(放映スタート時期 : 2012年4月18日(水)21:53 関東ローカルのみ) |

■発売時広告



1983年



1985年



1986年



1987年

5. 「マグマグ」商品概要

| 商品名 | マグマグ ベビー | マグマグ スパウト |
|---------|---|---|
| 画像 |  |  |
| 容量 | 200ml | 200ml |
| 価格(税込み) | 1,260 円 | 1,260 円 |
| 特長 | <p>生後 3 ヶ月頃から。 赤ちゃんが自分で持って飲む第一歩に。ハンドルつきカップ。</p> <p>哺乳研究から生まれた「新・母乳実感」の乳首付きで、さらに赤ちゃんがくわえやすく、哺乳運動を行いやすい飲み口です。</p> | <p>生後 5 ヶ月頃から。 乳首以外の飲み口に慣れるトレーニングに。口に入る量を調節しやすい、クロスカットのスパウト。シリコーン素材でやわらかく口にフィットし、また取り外しが可能で洗いやすくなっています。</p> |

| 商品名 | マグマグ トレーニングコップ | マグマグ ストロー |
|---------|---|--|
| 画像 |  |  |
| 容量 | 200ml | 200ml |
| 価格(税込み) | 1,260 円 | 1,260 円 |
| 特長 | <p>生後 8 ヶ月頃から。 コップ飲みのトレーニングに。口の脇からのこぼれを防ぎ、赤ちゃんが自分ですすり飲みしやすい飲み口つきです。</p> | <p>生後 8 ヶ月頃から。 飲みたいときにすぐ飲めるワンタッチオープン。新設計の「開閉ボタン」でスマートに開け閉めできます。</p> <p>飲むときは、フタをカップの背中に背負える形。カップを傾けても、フタが邪魔になりません。</p> <p>洗浄時の紛失、つけ忘れを防ぐために、通気パーツとストロー飲み口を一体化しました。</p> |